

厚真町地域公共交通活性化協議会 平成21年2月24日設置



概要

厚真町は、南北に長い地形で市街地が2つ存在するほか郊外に集落が点在する構造であるが、町内を起点・終点としている路線バスは1路線しかないため、循環福祉バスにより町内を3地区に分けて週1～3日、各3便の運行を行っている。しかし、地域によってはバス停まで2km離れているところや郊外に交通空白地域が見られ、特に高齢者等の交通の確保・外出支援が課題となっている。このため、スクールバスや循環福祉バスの有効活用、デマンド型交通の導入、路線バスを含めた利便性の向上と地域活性化を促進する公共交通のあり方について、総合的に調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR日高本線(浜厚真駅)
- ・あつまバス(株)(9路線)
- ・道南バス(株)(町内経由3路線)
- ・循環福祉バス(10路線)
- ・スクールバス(7路線)

○地域公共交通の課題

- ・町内路線バスの利用低迷
- ・交通不便・交通空白地域の利便性確保
- ・高齢者等、交通弱者の生活交通の確保・外出支援

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・スクールバス、循環福祉バスの有効活用(間合い利用、一般住民の混乗)
- ・デマンド型交通の導入
- ・路線バスを含めた町内交通体系の再構築



国土地理院発行20万分の1地勢図より